

ワークライフの多様性を支える人間環境デザイン
～ウェルビーイングへ繋がる空間のエビデンス～

CPD 単位：2 単位

EBD(Evidence-Based Design)とは、説明力のある設計を目指す Design Management の概念である。「根拠にもとづく設計」と訳される。本小委員会では、建築・空間の計画に関わる EBD の研究者と設計者があつまり、「設計技術」の根本に立ち返り、設計に役立つ技術とその実践プロセスの体系的な理解に努め、関連研究とそれを用いた設計技術の整理、普及に努める活動を行っている。

現在、働き方やワークライフが多様化する社会において、建築・空間の計画においてウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること）が求められている。今回は、住まい、職場、公共空間といったワークライフの多様性を支える場所のプロジェクトにおいて、それらから、どのようにウェルビーイングに繋がるエビデンス（根拠）を見出せるか、また先駆的な人間環境デザインがどのように実践されているか、実務における専門家を招き、議論を深めたい。

主題について「在宅ワークで変わる暮らしと住まいの EBD」について、松本氏による解説を、「働きながら健康とパフォーマンスを向上するための EBD」について、八木佳子氏による解説を、「ウェルビーイング都市とは？都市形態・空間配置と EBD」について、高松誠治氏による解説をそれぞれいただく。そして、今後におけるワークライフの多様性を支える人間環境のあり方、可能性を探るとともに、横断的な価値に対する EBD の方法論について考察する。

主催：日本建築学会 建築計画委員会 設計計画・構法計画運営委員会 Evidence Based Design 小委員会

日時：2023 年 2 月 27 日（月）16 時～19 時

会場：株式会社イトーキ ITOKI TOKYO XORK mot 会議室

集合場所：東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング 9F オフィスロビー

※当日はお申込み後に送られてくる参加券を印刷のうえご持参ください。（スマホ等での提示不可）

アクセス方法：<https://cs.itoki.jp/showroom/xork/>

【プログラム】

見学会 16：00～（40 分）

ITOKI TOKYO XORK：新しい働き方とそれを実現する為のオフィスデザイン

休憩 16：40～（20 分）

趣旨説明 17：00～（5 分）／山田崇史（近畿大学）

主題解説 17：05～（60 分 3 題：各 20 分）

1. 松本吉彦（旭化成ホームズ株式会社 くらしノバージョン研究所 二世帯住宅研究所長）
『在宅ワークで変わる暮らしと住まいの EBD』
2. 八木佳子（株式会社イトーキ R&D 戦略企画部 部長）
『働きながら健康とパフォーマンスを向上するための EBD』
3. 高松誠治（スペースシンタックス・ジャパン株式会社 代表取締役）
『ウェルビーイング都市とは？都市形態・空間配置と EBD』

休憩 18：05～（10 分）

ディスカッション・質疑 18：15～（40 分）

まとめ 18：55～（5 分）／那須聖（東京工業大学）

司会・進行／山田崇史（近畿大学）

【申し込み】

定員：50 名（申込先着順、2023 年 2 月 20 日（月）締め切り）

参加費：会員 1,500 円、会員外 2,000 円、学生（会員/会員外）1,000 円

申込方法：Web 事前申込（クレジットカード決済）

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=674584> よりお申し込みください。

※会員、会員外、学生（会員/会員外）を選択してお申し込みください。

なお、学生の方は、通信欄に所属先の学校名を入力してください。

領収証：領収証はお申し込み後に送られてくる「お申込み受付完了通知メール」内の領収証ダウンロード URL から発行可能です。

問合せ：山田崇史（近畿大学）E-mail：takashi.yamada.research@gmail.com

※来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

※新型コロナウイルス感染症等の事由により、オンライン開催に切り替える場合があります。その際は、申込者に別途ご案内いたします。